

本院患者さんへの情報公開用文書

「脳血管障害における画像的、遺伝子学的、免疫組織学的特徴の比較と病態の関係についての後ろ向き調査、解析」についてのご説明

はじめに

脳血管障害は依然他の血管障害と比較しても不明な点が多く、新しい治療法の開発が急務である。そのため、患者の画像、遺伝子、免疫組織学的特徴とその治療予後の関係を詳細に調査、解析することが必須とされております。

研究対象

脳神経外科において1998年1月1日から2018年12月31日まで脳血管障害治療を行った患者さんを対象にしています。

研究内容

患者背景（年齢、性別、主訴、症状発現時期、経過観察期間、喫煙、飲酒歴、痙攣発作の有無など）、治療方法（手術方法、内科的治療など）を、それぞれの生存期間、無増悪期間などに対する影響について検討します。

患者さんの個人情報の管理について

本研究では個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の措置について

1998年1月1日から2018年12月31日までの間で、本院で脳血管障害治療を受けられた方の中で、この研究に診療データを提供したくない方は、下記までご連絡下さい。

研究期間

2017年1月13日から2018年12月31日まで

予定症例数

300例

医学上の貢献

研究成果は脳血管障害の発症機序の解明及び新しい治療法の発見の一助になり、患者さんの治療と健康に貢献できます。

問い合わせ先

〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学附属病院脳神経外科

研究責任者 三國 信啓

同研究分担者 三上 毅

【平日 TEL(011)611-2111 内線 3351 (教室) 休日・時間外 TEL (011)611-2111 内線 3358 (8階北病棟)】